**Ｂａｊｈａｎｇ訪問 012**

**訪問者：新井場、マンジュー、クリシュナ**

６月８日午後２時にＤｈａｎｇａｄｈｉについたら４４度の暑さには驚きました。ジープですぐ出発してダデルドゥラに泊まりました。

9日：ダデルドゥラから７時ごろでました。１４時ごろChainpurに着いたときにビナとアニタが町の入り口に待っていた。

その後すぐホテルSantoshに荷物を降ろして、Bina､Anitaと打ち合わせ。ビナの学校はすぐ近くにあったので訪問した。土曜日なので休みの日。その日は教室を利用してチャウパディ調査を行うことにした。Santoshホテルに宿泊。

**1.４期生のBina Rokayaさんの学校訪問**

10日：朝６時ごろビナが迎えに来てくれた。学校は６時からスタート。暑い時期なので最近は学校の時間は朝になっている。

私たちが学校についた時に生徒はすでに教室に入っていた。先生や生徒から歓迎してもらった。

ダリットの子供が多い学校で校長もダリット民族の方でした。

皆でビナの授業を見学しました。

いつも明るい顔のビナがニコニコしながら授業しました。1，2年生の英語の授業。アルファベットの大文字と小文字を順番に並べるという作業。ちゃんと順番に並べていたから驚き。ビナは私たちが来るというので、大掃除をしたとか。きれいな教室でした。

職員室に入って調査を行いました。課外教育に力を入れてもらっている。いつも楽しい授業をやってもらっているので子供が大喜び。ビナ先生は子供の大好きな先生と校長が語った。

学校の建物自体は古かったが中は清潔でした。先生方の様子も一生懸命でした。殆どダリットの子供が勉強するこの学校はトイレはあっても水問題でこまっていた。飲み水はセティ（ＰＫＲのセティ川とは別）へ行って飲む。Chainpur町は水が豊富のように見えても水不足ということでした。

**2.Anita Budhaさんの学校訪問**

５期生のAnita Budhaが、初めて学校で仕事する日です。せっかくなので訪問することにしました。彼女にとっても心強く学校へ行けることになる。町から川上へ３０分ほど歩いたところにSatyabadi高等学校がある。

暑い中あるいていくと昔ながらの立派な建物の学校があった。校庭は結構広々としていた。校長は背が高く貫録のある人だった。ビナの親戚にあたるとかで、JNFEAのことは承知していた。

Anitaのような先生を派遣してくれた事に校長は喜んでくれた。ここの学校だけは遠いところからも生徒が来るので１０時から４時までに教えていた。

アニタの授業を見ましょうと教室に入ったが、初日から授業とは、できるのかなと心配したが、予習したのかどうか、堂々と授業を始めたのには驚いた。新井場はJNFEAの趣旨を説明し、「雨雨降れ降れ」のネパール語版を即席で歌ってサービス。

生徒たちは私たちに関心を示し、近寄ってきて話したがる。女の子が積極的で、教員室の前にやってきて、英語（しっかりした）で話しかけてきました。3人の女の子は9年生で、ひとりは、数学が好き、一人は理科（生物）、もう一人は英語が好きと話していました。理系の女の子がいることにびっくりした次第。副校長によると、女生徒の方が積極的であるといっていました。

校長室での会話

学校は大きいですが（500人規模）飲み水がない。あの大きなセティ川の水は飲み水に適していないということです。水源がようやく見つかったので、村と協力して水源を見つけたが、十分な資金がない。協力してくれないかと校長に尋ねられた。資金はいくらぐらいかと聞いたら、100万円との答え。これが、全部で100万なのか、不足分がそうなのかを詳しく聞くと、期待されても困るので、そこまでにしておいたが、話半分としてもできない話ではないなと感じた。（あらいば）

最後に校長と数名の生徒と写真をとって別れた。

Anitaは３年間お世話になる学校の立派なことにはつくづく驚いております。

今回の学校訪問にワーデンさんのＭａｎｊｕさんの参加は良かったと思う。彼女も参加したことで、日ごろ生活を共にしている寮生たちの故郷を見れたことを非常に喜んでいる。

何よりも距離の遠い事には驚いたそうです。

閑話休題：途中で車の行列、何事かと思ったら、対向車のトラックが故障とのこと。車から降りた運転手たちが総出で故障のしゅうりにかかり、どうやら修繕できて1時間後に出発。たくさんのトラックが行きかいます。（　クリシュナ・新井場共同報告）